

生産、出荷指数 とともに低下

1 概要

平成15年7～9月期の埼玉県鉱工業指数（X-11 デフォルトによる季節調整済、平成7年平均＝100）は、前期と比べ、生産、出荷、在庫が低下し、在庫率が上昇した。生産は3期ぶり、出荷は2期ぶりの低下となった。

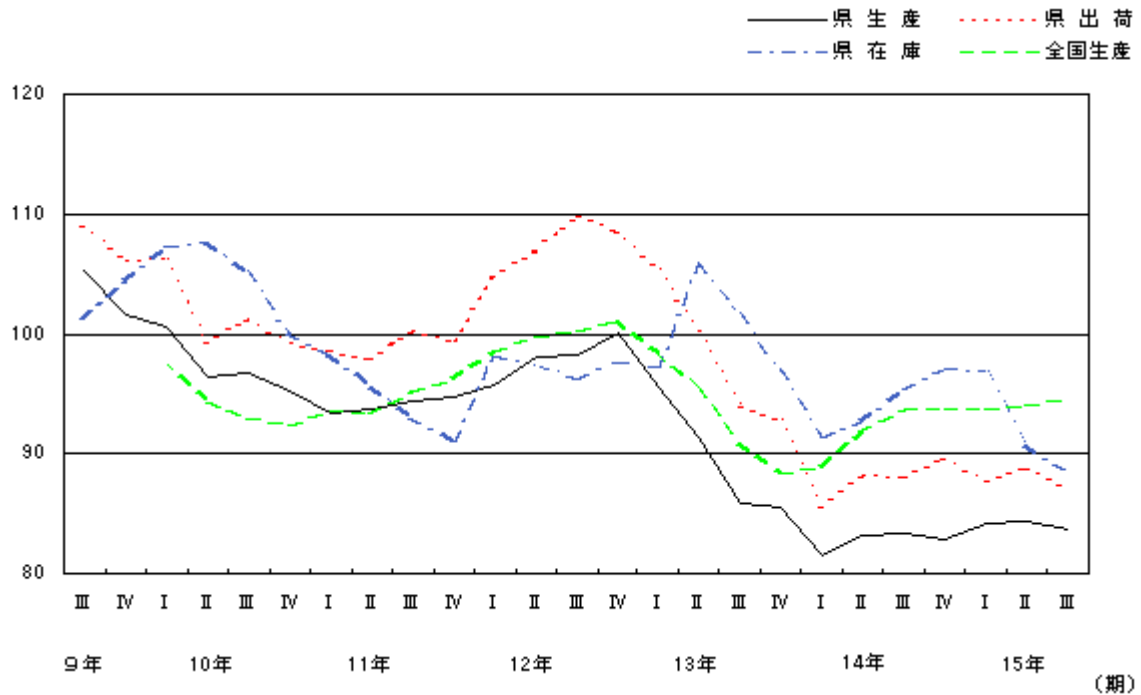
前年同期比では、生産、在庫率が上昇し、出荷、在庫は低下した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	83.6	△0.8	0.2	94.5	0.5	0.9
出荷	87.2	△1.9	△0.9	96.6	0.3	2.1
在庫	88.5	△2.2	△7.2	91.2	0.9	△1.3
在庫率	116.5	2.9	6.5	98.8	1.1	0.0

前年同期比は原指数による。全国の在庫指数は期末値による。全国は平成12年平均＝100

－埼玉県鉱工業総合指数の推移－

（平成7年平均＝100＜全国生産は平成12年平均＝100＞ 季調済）



2 業種別動向

(1) 生産

19業種中9業種が上昇し、10業種が低下した。上昇には輸送機械工業、一般機械工業などが寄与し、低下には電気機械工業、化学工業などが寄与した。

(2) 出荷

19業種中10業種が上昇し、9業種が低下した。上昇には一般機械工業、輸送機械工業などが寄与し、低下には化学工業、食料品工業などが寄与した。

(3) 在庫

19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇には電気機械工業、化学工業などが寄与し、低下には輸送機械工業、非鉄金属工業などが寄与した。

